



原点はここにある

第9回 衛星設計 コンテスト

募集区分：設計の部・アイデアの部

参加登録受付期間：平成13年4月2日(月)～5月18日(金)

最終審査会：平成13年10月21日(日)

東京都立航空工業高等専門学校 汐梨ホール

主催：日本機械学会
電子情報通信学会
宇宙開発事業団
日本宇宙フォーラム

日本航空宇宙学会
宇宙科学研究所
宇宙科学振興会

共催：読売新聞社

後援：総務省 文部科学省

協力：小型衛星研究会

文部科学省メディア教育開発センター

第9回 衛星設計コンテスト

募集要項抜粋

Satellite Design Contest

募集区分

◆設計の部

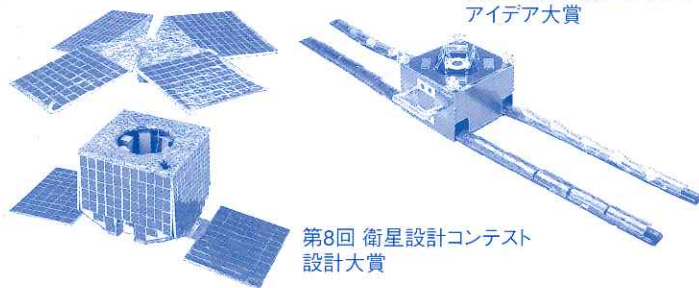
今回は課題を設けず、軌道条件は自由とします。衛星は打上げロケットから分離されるものとします。衛星に関する制約は次の通りで、これらの条件をもとに設計を行って下さい。

1. 重量：50kg以下
2. 形状：打上げ時、50cm×50cm×50cmの空間に収まること

◆アイデアの部

1. 設計条件：制約は特に設けません。大きさや重量は、H-IIAロケット、国際宇宙ステーションなどが利用できることを限度とします。
2. 対象：人工衛星にこだわらず、打上げロケット機体の利用、弾道飛行ミッション、月・惑星探査、衛星搭載機器、国際宇宙ステーション、あるいはスペースシャトル搭載実験等、幅広く宇宙を舞台に活動するものであれば、何でも結構です。
3. 詳細な設計は必要ありませんが、技術的に実現が可能であることを明らかにして下さい。

※設計に際しては、参考資料としてウェブ上で公開している「衛星設計コンテスト技術資料」をご利用頂けます。本資料の閲覧、ダウンロードにはパスワードを必要としますが、これは参加登録者に対し、登録料の入金を確認次第お知らせします。



応募資格

応募資格は、大学院、大学及び高等専門学校の学生の個人またはグループとします。
(グループの場合は指導教官を含んでよい)

提出資料等

◆設計の部

- (1) ミッション概要説明書 (指定フォーマットあり)
- (2) ミッション解析書
- (3) 衛星設計解析書

◆アイデアの部

- (1) ミッション概要説明書 (指定フォーマットあり)
- (2) ミッション解析書

設計・アイデアの部ともに、最終審査会当日に模型を提出。

スケジュール

参加登録受付期間：平成13年4月2日(月)～5月18日(金)

作品応募受付期間：平成13年5月21日(月)～6月29日(金)

第1次審査：平成13年8月上旬

最終審査会：平成13年10月21日(日)

東京都立航空工業高等専門学校 汐梨ホール

申込先

参加ご希望の方は、下記事務局に募集要項及び参加登録様式をご請求下さい。また、募集要項・参加登録様式は、ホームページからダウンロードすることができます。

参加登録料：3,000円

(振込先は募集要項をご参照下さい)

〒105-0013

東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル8階

(財)日本宇宙フォーラム 調査研究部 衛星設計コンテスト事務局宛

TEL：03-3459-1654 FAX：03-5402-7521

事務局E-mail：satcon@jsforum.or.jp

技術資料専用問合せE-mail：sctext@jsforum.or.jp

URL：http://www.nasda.go.jp/satcon/

第8回衛星設計コンテスト受賞作品の紹介

表彰	テーマ名称	学校	代表者(敬称略)
設計大賞	JetGun Sat 突風	東京工業大学大学院	宇井 恭一 [Toppu]
アイデア大賞	The TAKO(Target Collaborativize)-Flyer (ターゲットを協力化させる衛星回収システム)	東北大学	中西 洋喜
日本機械学会 宇宙工部門表彰 フロンティアの部	Space Factory ～宇宙空間における大型構造物の組み立て～	東京大学大学院	樋田 聡史
日本航空宇宙学会賞	停泊した衛星の調査	北海道大学大学院	中村 大輔
電子情報通信学会賞	マイクロ放送電技術を用いた 軌道上サービス衛星の基礎実験	東京都立 科学技術大学	白石 卓也
宇宙科学振興会賞	衛星写真を利用した人口密度分布の観測	東京都立航空工業 高等専門学校	有住 聖子
審査委員長特別賞 (1作品)	双方向デジタル放送を用いた 地球鑑賞システム - Global Eye System -	東京大学大学院	坂本 啓
奨励賞 (4作品)	太陽へのデブリ/衛星投入計画	日本文理大学	後藤 裕臣
	ストーム・インサイダー	日本大学大学院	野村 晃司
	人工衛星によるレーザ干渉計型 重力波検出システム	創価大学大学院	佐々木博幸
	Gravitational-Wave Satellite (GRA-SAT)		
	ゼーベック効果による宇宙空間での 発電補助システム	東京都立航空工業 高等専門学校	篠崎 亮蔵